



報道関係各位

2007年1月25日

**シティグループと国連世界食糧計画、
WFPエマージェンシー・ネットワークを発足
シティグループ・ファンデーションがWFPの準備体制強化に320万ドルを寄付**

国連世界食糧計画(以下、「WFP」)とシティグループの法人金融・投資銀行部門は、本日、WFPエマージェンシー・ネットワークの発足を発表しました。WFPは世界最大の人道援助機関であり、災害時における物資輸送の担い手としてだけでなく、飢餓撲滅を目指す国連の主要機関としての役割を負っています。今回のネットワーク発足は、WFPと民間企業が手を組んだ画期的な取り組みです。

シティグループは、シティグループ・ファンデーションを通じて、今後2年間でWFPに320万ドルを寄付することをあわせて発表しました。WFPは、「災害の生じやすい国々において、食糧安全保障を事前に確保すること」を優先事項として掲げており、今回の寄付は、この優先事項を達成すべく、WFPの態勢強化に充てられます。

シティグループ法人金融・投資銀行部門の共同プレジデント、マイケル・クラインのコメント。「津波、地震、ハリケーンなど、災害が発生すれば、当然のこととして私ども民間企業も支援の手を差し伸べることができます。世界中で、企業活動を維持していくための十分な知識と経験を有しています。これらの経験や資源を災害に先立って活用することで、WFPの人命救助活動の促進に戦略的な役割を果たすことができるのです。」

「シティグループ・ファンデーションの寄付を通じて、WFPの災害時への予備能力強化に協力できることを、私たちは心から嬉しく思っています。この寄付は、『緊急ニーズ査定能力の強化(Strengthening Emergency Needs Assessment Capability; SENAC)』と呼ばれるWFPの戦略的取り組みの資金となります。私たちはこの取り組みをもとに、次に災害のおこりそうな地域に焦点を絞り、そこに暮らす人々、特に最貧困層の人々のための防災活動や、災害の影響を最小限に抑える活動に全力を尽くすことができるのです。」

「緊急ニーズ査定能力の強化」は3ヵ年計画で、災害発生時の緊急ニーズを確実・公平に判断するためのWFPの能力強化を目指します。災害が発生した際、食料支援が必要な人を特定し、その住居や人数といった情報を正確に把握することが極めて重要です。災害が発生する前に、このような情報を入手しておくことで、より迅速で効率的な人道支援が可能になります。また、この寄付は、人々の自給力の変化を監視するシステムづくりにも利用される予定です。

「WFPは、現在、より頻繁に緊急事態に直面しており、世界各地の危機に、より迅速で効率的な対応ができる体制を作ることが課題です。今般のエマージェンシー・ネットワークの発足と、シティグループによる SENAC プロジェクトへの資金提供により、私たち WFP はいざというときの備えを強化することができます。」と、ローマにある WFP 本部の業務・輸送部門アソシエート・ディレクター、アメル・ダウディは語っています。

昨年の世界経済フォーラムにおいて、シティグループとWFPは、災害による影響の緩和を目指して、効果的な支援を行う民間企業の協力機構を作ることを表明しました。本日発表されたエマージェンシー・ネットワークにより、企業は予め用意しておいたトラックや電気通信機器、食糧、その他必要とされる物資を提供し、WFPの災害対応を事前に補強することができます。企業が事前に寄付を行うことで、災害時のWFPの初期対応に貢献できるだけでなく、寄付の利用状況も把握でき、場合によっては課税控除の対象となります。この利用状況は、受け手側にも伝えられます。

シティグループとWFPは現在、多数の企業にWFPエマージェンシー・ネットワークへの参加を呼びかけており、決定次第、メンバー企業が発表されます。WFPには、オランダの物流企業TNTやポストン・コンサルティング・グループ、ユニリーバ、ボーダフォン・グループ・ファンデーションなど、数多くの企業がパートナーとして協力しています。

シティグループ法人金融・投資銀行部門は2005年にWFPとパートナーシップを結び、当社の世界規模の拠点や地域との関係、そして緊急時の迅速な対応力を活用し、災害に対処するためWFPの活動を継続的に支援しました。このパートナーシップは、2004年に東南アジアで発生した津波災害の際にシティグループが支援を提供したことから始まりました。その際、シティグループのアジア地域の社員は、オフィスやコンピューターを提供したり、必要な資源を得るために地域の要人に掛け合うなど、さまざまな支援を行いました。この取り組みにより、WFPは迅速に復興支援拠点をバンコクに立ち上げることができました。シティグループは、2005年に発生したフィリピンの地震や米国のハリケーン・カトリーナなど、その後の災害の発生時にもWFPの活動を支援しています。

お問い合わせ先：

シティグループ、コーポレート・アフェアズ

Tel: 03-5462-5056

日興シティグループ証券株式会社、広報室

Tel: 03-5574-5740